

I D 問答～新たに始まった、我(ら?)が精神の放浪?!～

作：I & D

⑳ 「どうしようもないこと？」に、どう向き合っていけばよいのか?!最後の60代を迎えて!

I：実は、今日で、私(達?)は、いよいよ最後の60代を迎えるわけですが、相変わらずの「コロナ禍」(第4波!)等もあって、なかなか素直に?我が誕生日を喜ぶことができません?Dさん、あなたはどうですか?

D：もちろん私も、あなたと同じ年齢、同じ誕生日なのですから、思いは一緒なのですが、一方で、このように馬齢?を重ねていくと、誕生日とかいっても、何か面映ゆいというか、面倒くさいというか、そんな思いにもなりますよね?しかも、今回は、いわゆる「古希」の一手手前!ある意味、複雑でもありますよね?!

I：そこに、長く、憂鬱なコロナ禍!動けない!何も変わらない?!いたずらに、時間が、そして、日々が過ぎていく?何とも、歯痒い、もったいない?!そんなことさえ、思いますよね?しかも、もう一つ今回は、そこに、「どうしようもないこと?」という思いが加わって(否、そればかり?)、「うんざり」の極致?といったところでもありますよね?!

D：まったく同感ですね!その「どうしようもないこと?」とは、個人的(私生活的)にもそうですが、大きく言えば、国の内政・外交、すべてが、その中で動いている(実際は、動かされている?)?そんな気さえますからね?!

I：ワクチン対応、オリンピック開催、それらを筆頭にですよね?!

D：そういうことですね!まあ、とにかく、その「どうしようもないこと?」の中で、私達は生きています?そして、これからも生きていく?そのことは、間違いないでしょうから、人は、ある時期(きっかけ?)に、そうした自分の人生への、ある意味での「決着?」をつけないければいけないのかもしれないですね?!それが、例えば、次の年の「古希」であったりする?!

I：そうですね!ちなみに、それは、「古来稀」という意味は、今では、ほとんど失われていますが、今流行りの「終活(を始める時)」の意味に置き換わっているようにも思いますね?「見切り」(諦め?)と「決断」というようにも言えるかもしれませんが、そんな気もしますよね?!「人生100年時代」とか、そういうことも言われていますが、私には、どうも、そういうようには思えません?!

D：もちろん、誰が、いつまで生きるのかは、まったく分かりませんが、一つのきっかけとしては、やはり70歳にある?!そういうことで、いいのではないのでしょうか?

I：ただし、今、話題にしているのは、生物的な終わりではなく、社会的な生活の終わり(見切り)ということですよ!ある意味、生物的な終わりを語っても、何の意味もありませんからね?!

D：それはどうだか分かりませんが(「生物的な終わりを語る」に意味がないことはない?)、基本的には、そういうことです!しかし、そうは言っても、誰もが、その70歳にこだわる必要はない!それこそ、人それぞれですから!単なる通過点という人もいます?それはそれで、いいのでは?!

I：結果的に(意に反して?)、それ以前に、そうなる人もいますしね!とにかく、「人は、ある時期(きっかけ?)に、自分の人生への、ある意味での『決着?』をつけないければいけない!」。それが、今、私(達)が強く意識し始めていることだということですよ!

D：まったく、そういうことですね!そして、そこにある(底流している?)ものは、病気にしろ、加齢にしろ、「自分ではどうしようもないこと?」が、厳然とある!」ことへの、「自分なりの納得(決着?)」が求められるということではないのでしょうか?!ただ、「社会的な生活の中でのどうしようもないこと?」への、「自分なりの納得(決着?)」についてが、それと連動しているかどうかは、それこそ人それぞれでしょうが?!

(つづく)